



ユーザーガイド

© Copyright 2017 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新のユーザーガイドについては、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして【製品から探す】を選択し、画面の説明に沿って操作します。

初版：2017 年 4 月

製品番号：925121-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの機能、設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

⚠ 警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

⚠ 注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

📖 注記： 重要な補足情報です。

💡 ヒント： 役に立つヒントを示します。



この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
リアパネルの側面および下部の各部	3
スタンドの各部	4
モニターの設定	5
モニターを設置するときの注意	5
モニター スタンドの取り付け	5
ディスプレイ本体の取り付け	6
モニター スタンドの取り外し	6
VESA 準拠の取り付け器具の取り付け	7
ケーブルの接続	8
USB デバイスの接続	11
モニターの調整	11
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	12
モニターの電源投入	13
2 モニターの使用	14
ソフトウェアおよびユーティリティ	14
設定情報ファイル	14
Image Color Matching ファイル	14
INF および ICM ファイルのインストール	14
CD/DVD-ROM からのインストール（一部の地域で利用可能）	14
Web サイトからのダウンロード	15
[HP My Display]ソフトウェアの使用	15
ソフトウェアのダウンロード	15
ソフトウェアの使用	15
オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用	15
ゲーム用の高速応答時間の選択	16
機能ボタンの割り当て	17
低ブルー ライト モードの調整	18
自動スリープモードの使用	18

3 サポートおよびトラブルシューティング	19
一般的なトラブルの解決方法	19
ボタンのロックアウト	20
製品サポート	20
お問い合わせになる前に	20
製品ラベルの位置	21
4 モニターの保守	22
保守に関するガイドライン	22
モニターの清掃	23
モニターの運搬	23
付録 A 技術仕様	24
プリセットディスプレイ解像度	25
ユーザー モードの使用	26
電源アダプター	26
省電力機能	26
付録 B ユーザー サポート	27
サポートされている支援技術	27
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	27

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

⚠ 注意： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

📖 注記： この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


製品の特長および各部

特長

この製品は、144 Hz のリフレッシュ レートをサポートする 24.5 インチ(対角長 62.2 cm)の TN(Twisted Nematic) ディスプレイです。

この製品は AMD FreeSync 対応ディスプレイで、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことができます。ディスプレイに接続されている外部ソースに、FreeSync ドライバーがインストールされている必要があります。

AMD FreeSync テクノロジーは、ゲームやビデオが滑らかに動かなかったり目に刺激を与えたりする問題をなくすために、ディスプレイのリフレッシュ レートをグラフィックスカードのフレームレートに固定します。特定の機能については、お使いのコンポーネントやシステムの製造元に問い合わせてください。

 **重要** : AMD Radeon グラフィックスおよび AMD A シリーズ APU 準拠のディスプレイでは、DisplayPort/HDMI Adaptive-Sync が必要です。HDMI 経由での FreeSync をサポートするには、AMD 15.11 Crimson 以降のドライバーが必要です。


 **注記** : 適切なリフレッシュ レートは、ディスプレイによって異なります。詳しくは、<http://www.amd.com/ja-jp/innovations/software-technologies/technologies-gaming/freesync/> を参照してください。

ディスプレイで FreeSync を有効にするには、モニターの **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。**[カラー コントロール]**→**[表示モード]**→**[ゲーミング]**→**[FreeSync]**の順にクリックします。

このディスプレイの特長は以下のとおりです。

- 1920×1080 以下の解像度をサポートする、24.5 インチ (対角長 62.2 cm) の表示領域
- 傾斜角度調整機能付きでさまざまな角度からでも見やすい表示画面
- TN テクノロジーにより、広い視野角を実現し、色の整合性を維持
- HDMI (High-definition Multimedia Interface) ビデオ入力
- DisplayPort ビデオ入力
- セキュリティ ロック ケーブル用スロット
- オーディオ ヘッドフォン/可変ライン出力コネクタ
- 便利なヘッドフォン保管フックをモニター スタンドに装備
- プラグ アンド プレイ機能 (お使いのオペレーティング システムでサポートされる場合)
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能 (10 言語に対応)
- Windows®を使ってモニターの設定を調整する[HP My Display]ソフトウェア
- デジタル入力で使用される HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)
- 一部の地域では、モニター ドライバーおよび製品の説明書が収録された『Software & Documentation』(ソフトウェアおよびドキュメンテーション) CD/DVD-ROM/ブルーレイがモニターに付属

- ディスプレイを壁面取り付け器具またはスイングアームに取り付けるための VESA 準拠の取り付け機能
- USB 3.0 ハブ（アップストリームポート×1、ダウンストリームポート×2）

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**【製品から探す】**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

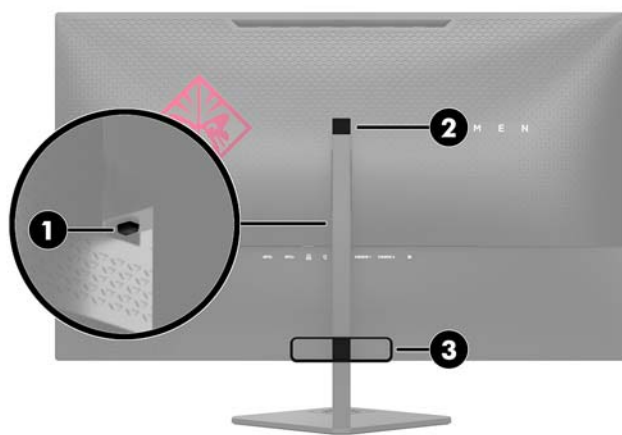
リアパネルの側面および下部の各部



項目	名称	機能
1	電源ボタン	モニターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります
2	OK ボタン	ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます。OSD メニューを開くと、OK ボタンの上にインジケータが表示されます
3	機能ボタン	OSD メニューを操作するときに使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの上に、操作に関するインジケータが表示されます 注記： OSD メニューのボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、 17 ページの機能ボタンの割り当て を参照してください
4	セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブルでモニターを固定物につなぎます
5	USB 3.x ポート（×2）（ダウンストリーム）	別売の USB デバイスをモニターに接続します
6	USB 3.x ポート（アップストリーム）	入力デバイスの USB ハブケーブルをモニターに接続します
7	電源コネクタ	AC アダプターを接続します
8	HDMI 入力端子（×2）	入力デバイスの HDMI ケーブルをモニターに接続します

項目	名称	機能
9	DisplayPort	入力デバイスの DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
10	オーディオヘッドフォン/可変ライン出力コネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオケーブルなどを接続します 警告! 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、CD/DVD-ROM/ブルーレイ（製品に付属している場合）に収録されています

スタンドの各部



項目	名称
1	スタンドリリースボタン
2	ヘッドフォン保管フック
3	ケーブル管理用部品

モニターの設置

モニターを設置するときの注意

モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

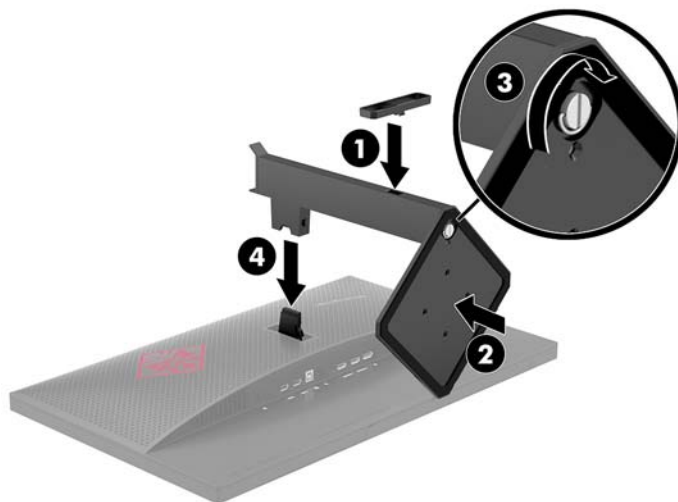
スタンドを取り付ける場合は、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、破損したりすることや、フロントパネルを損傷したりすることを防止できます。

モニター スタンドの取り付け

⚠ 注意：画面は壊れやすいものです。画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

💡 ヒント：モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイパネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。


1. モニターを梱包箱から取り出し、乾いた清潔な布を敷いた安定した平らな場所に、ディスプレイパネル前面を下向きにして置きます。
2. 台座とスタンドを箱から取り出します。
3. ケーブル管理用部品をスタンドの所定の位置に押し込みます (1)。
4. 台座とスタンドを組み立てるには、台座とスタンドの位置を合わせ (2)、台座のネジをスタンドに差し込み、ネジをしっかりと締めます (3)。
5. スタンドをモニターに取り付けるには、スタンドの上部にあるブラケットを、カチッと音がするまでディスプレイ本体の背面のコネクタに差し込み (4)、所定の位置にしっかりと固定します。




ディスプレイ本体の取り付け

ディスプレイからスタンドを取り外して、ディスプレイを壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

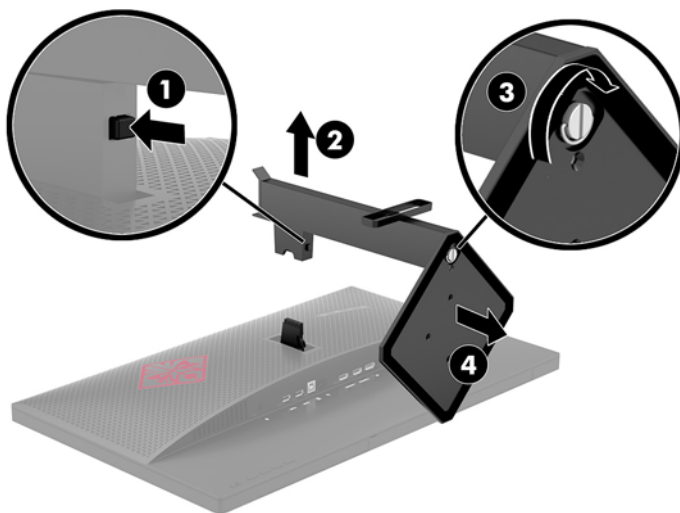
 **注記**：この装置は、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えられるように設計されています。

 **注意**：このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このディスプレイ本体に他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、ディスプレイ本体を損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していること、およびディスプレイ本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

モニター スタンドの取り外し

 **注意**：モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. リリースラッチを押し下げ (1)、スタンドをスライドさせてディスプレイ本体のコネクタから取り外します (2)。
4. ネジを緩め (3)、スタンドから台座を取り外します (4)。



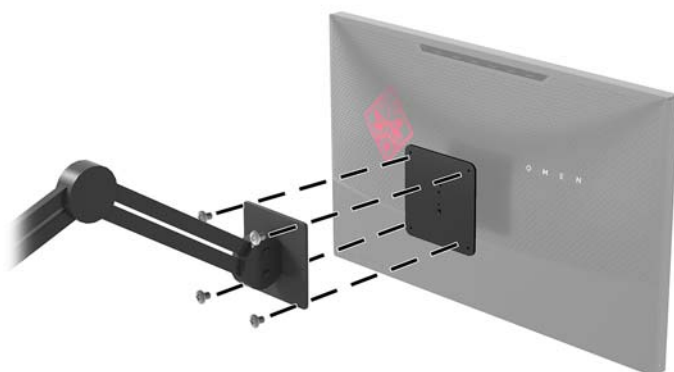
VESA 準拠の取り付け器具の取り付け


VESA 準拠の取り付け器具がモニターに付属しており、ディスプレイ本体を壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けるときに使用できます。

1. モニター スタンドを取り外します。[6 ページのモニター スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. ディスプレイ本体の背面にあるコネクタに、VESA 準拠の器具のコネクタをカチッと音がするまで差し込みます。




3. ディスプレイ本体をスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4 本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、ディスプレイ本体の背面に取り付けられていた VESA 準拠の器具のネジ穴に差し込みます。




 **重要：**モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。


重要：モニターの最適なパフォーマンスと画面の見やすさのために、モニターを 90 度回転させて縦向きにしないでください。

ケーブルの接続

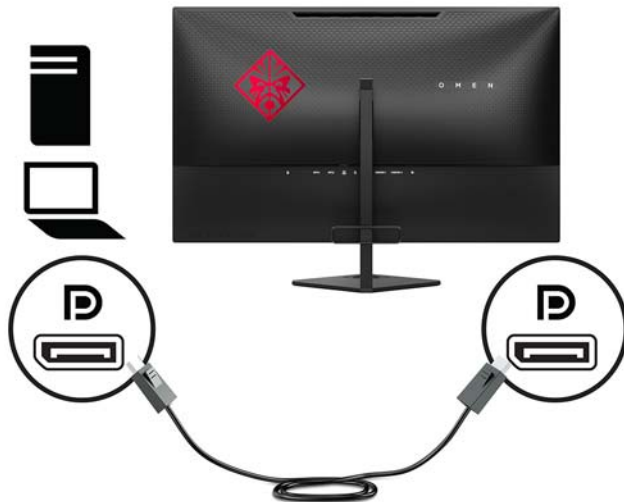
 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

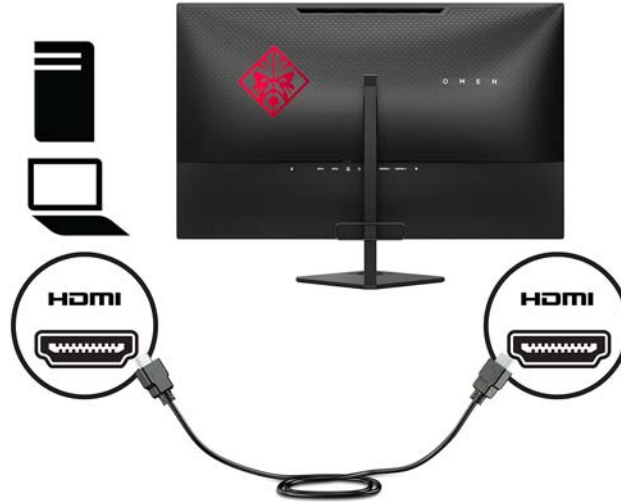
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押し、**[入力コントロール]**を選択してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用します。

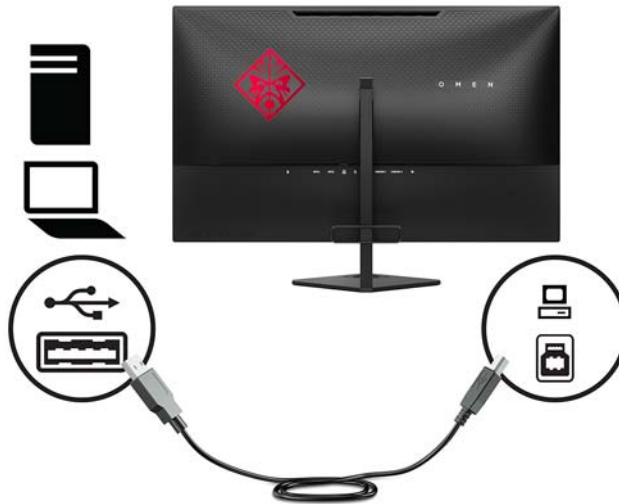
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



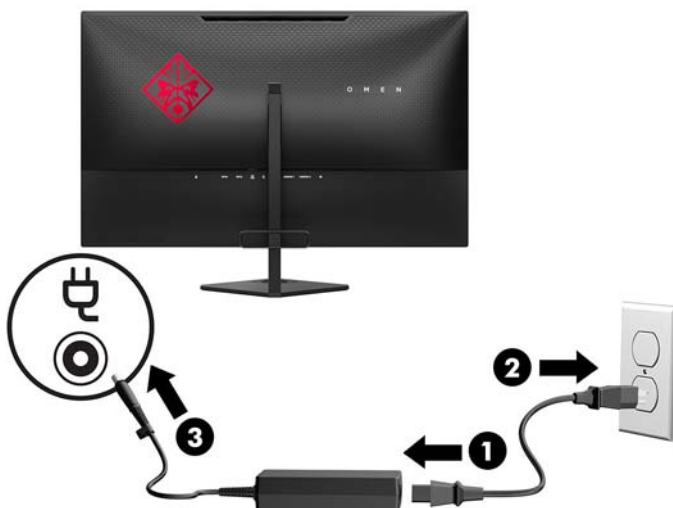
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



3. USB アップストリームケーブルの Type-B ポートをモニターの背面の USB アップストリームポートに接続してから、ケーブルの Type-A ポートを入力デバイスの USB ダウンストリームポートに接続します。



4. 電源コードの一方の端を電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、電源アダプターをモニターに接続します (3)。




⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

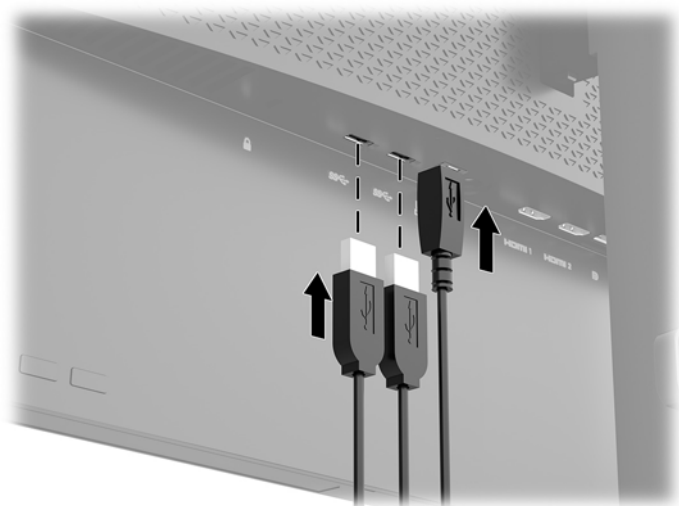
- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは必ず、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

USB デバイスの接続

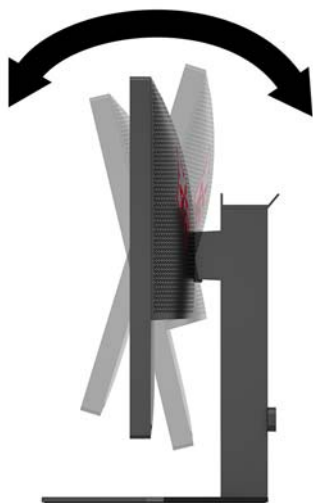
モニターの背面に、USB ダウンストリーム ポートが2つ、USB アップストリーム ポートが1つあります。

 **注記**：モニターの USB ポートを有効にするには、USB アップストリームケーブルをソースのコンピューターからモニターに接続する必要があります。[8 ページのケーブルの接続](#)の手順 3 を参照してください。



モニターの調整

モニターのパネルを前方または後方に傾けて、見やすい位置に設定します。



セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

セキュリティ ロック ケーブルは、鍵でロックするワイヤ ケーブル付きのデバイスです。ケーブルの一方の端をデスク（またはその他の固定物）に取り付け、もう一方の端をコンピューターのセキュリティ ロック ケーブル用スロットに取り付けます。鍵をかけて、セキュリティ ロック ケーブルを固定します。



⚠ 注意：セキュリティ ロック ケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの傾斜調整、左右方向の回転または高さ調整を慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが調整の妨げになることがあります。

モニターの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. モニターの背面にある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



△ 注意：モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性があります、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面への「焼き付き」は、HPの保証の対象外です。

*ここで長時間とは、12時間以上連続した時間を指します。

📖 注記：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを10秒程度押し続けます。

📖 注記：電源ランプはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。モニターの背面のメニューボタンを押して、**【電力コントロール】→【電源ランプ】→【オフ】**の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが5秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン）、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

CD/DVD-ROM（モニターに付属している場合）には、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録されています。オプティカルドライブがない場合は、<http://www.hp.com/jp/support/> からファイルをダウンロードできます。

- INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- [HP My Display]ソフトウェア


設定情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

INF および ICM ファイルのインストール

INF および ICM ファイルを更新する必要がある場合は、次のどちらかの方法を使用してファイルをインストールしてください。

CD/DVD-ROM からのインストール（一部の地域で利用可能）

INF および ICM ファイルを CD/DVD-ROM/ブルーレイ（付属している場合）からコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD/DVD-ROM/ブルーレイをコンピューターの CD/DVD-ROM/ブルーレイ ドライブに挿入します。CD/DVD-ROM/ブルーレイのメニューが表示されます。
2. **[HP Monitor Software Information]**（HP モニター ソフトウェア情報）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニター ドライバー ソフトウェアをインストールする）を選択します。

4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。

Web サイトからのダウンロード

CD/DVD-ROM/ブルーレイドライブを搭載したコンピューターまたは入力デバイスがない場合は、以下の操作を行って、最新バージョンの INF および ICM ファイルを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードします。

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 画面の説明に沿ってお使いのモニターを選択し、ソフトウェアをダウンロードします。

[HP My Display]ソフトウェアの使用

[HP My Display]ソフトウェアを使用して、最適な表示の設定を選択します。ゲーム、ムービー、写真編集、またはドキュメントおよびスプレッドシートの作業の設定を選択できます。[HP My Display]ソフトウェアを使用して、輝度、色、コントラストなどの設定を簡単に調整することもできます。

ソフトウェアのダウンロード

[HP My Display]ソフトウェアをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェア/ドライバー]を選択し、画面の説明に沿ってお使いのモニターを選択して、ソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアの使用

[HP My Display]ソフトウェアを使用するには、タスクバーの[HP My Display]アイコンを選択し、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。ディスプレイの背面のボタンを使用すると、OSD メニューにアクセスして調整できます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、3つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にします。次に、メニューボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 3つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーンボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。


以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

メインメニュー	説明
ブライツネス	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD の設定項目を調整します
管理	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻し、言語を選択します
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

ゲーム用の高速応答時間の選択

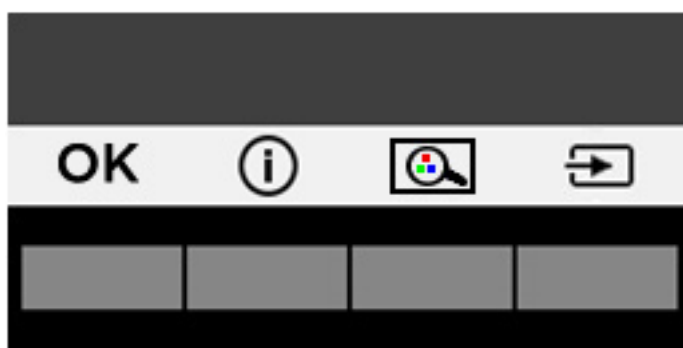
応答時間を高速に設定することもできます。

1. **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. **[Image Control]** (イメージコントロール) → **[応答時間]** の順に選択します。
3. **[応答時間]** メニューから、以下のどれかのレベルを選択します。
 - レベル 1 (初期設定)
 - レベル 2 (高速)
 - レベル 3
 - レベル 4
 - レベル 5 (最速)

 **注記:** モニターの応答時間は 7 ミリ秒に初期設定されています。ディスプレイメニューで応答時間を 1 ミリ秒まで短く設定できます。すべての動作仕様は、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

機能ボタンの割り当て

前面にある3つの機能ボタンのどれかを押し、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。




ボタン	機能
OK	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが表示されます
【情報】 (機能ボタン1: 割り当て可能)	情報メニューが表示されます
【表示モード】 (機能ボタン2: 割り当て可能)	モニターをプリセット表示モードに切り替えます
【次のアクティブな入力】 (機能ボタン3: 割り当て可能)	次のビデオ入力ソースに切り替わります

機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てるには、以下の操作を行います。

1. 3つの機能ボタンのどれかを押し、ボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. OSD メニューで、**【メニューコントロール】**→**【ボタンの割り当て】**の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。


 **注記:** 割り当てなおすことができる機能ボタンは3つのみです。**メニュー** ボタンおよび**電源** ボタンは割り当てなおすことができません。

低ブルーライトモードの調整

ディスプレイのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

ディスプレイからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. **メニュー** ボタンを押し、**[カラーコントロール]**→**[表示モード]**の順に選択します。
2. 目的の設定を選択します。
 - **[低ブルーライト]**: ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
 - **[読書]**: ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
 - **[夜間]**: ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します
3. **[Save and Return]** (保存して戻る) を選択して設定を保存し、**[表示モード]**メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**[キャンセル]**を選択します。
4. メインメニューから**[Exit]** (終了) を選択します。

 **注記**: 操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザーガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、健康、および作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から**[日本語]**を選択することで表示できます。

自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、ホストPCから低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態のモードになると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は0.5 W未満です。ホストPCからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードはOSDメニューで無効にできます。背面の**メニュー** ボタンを押してOSDメニューを開きます。OSDメニューで、**[電力コントロール]**→**[自動スリープモード]**→**[オフ]**の順に選択します。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。


トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源がオフになっている	背面の電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続 されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 8ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードに なっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
	ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します
複数のビデオケーブルを接続 している	使用しないビデオケーブルを取り外します	
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	OSDメニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
[Check Video Cable] と画 面に表示される	モニターのビデオケーブルが 外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range] というメッセー ジが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニターがサポート するレベルを超えるレベルに 設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは 25ページのプリセットディスプレイ解像度 を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープ モードには移行してい ないように見える	モニターの省電力機能が無効 になっている	OSDメニューを開き、 [電力コントロール] → [自動スリープモード] の順に選択して、自動スリープを [オン] に設定します
[OSD Lockout] と画面に 表示される	モニターの OSD ロックアウト 機能が有効になっている	リアパネルの メニュー ボタンを10秒程度押し続けて、OSDメニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロッ クアウト機能が有効になっ ている	電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

ボタンのロックアウト

電源 ボタンまたは**メニュー** ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、ディスプレイの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。


製品サポート

モニターの使用について詳しくは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして適切なサポートカテゴリを選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記:** モニターの説明書、リファレンスガイド、およびドライバーはこの場所から入手できます。

以下の作業を実行できます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記:** ご希望の言語がチャットサポートに対応していない場合は、英語でのサポートをご利用ください。

- HP のサービスセンターを探す

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには、製品番号およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニター本体の底面にあります。




4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流 (AMPS または A) は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバー プログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記**：モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。


△注意：布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意：ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するディスプレイ モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

仕様	測定値
ディスプレイ、ワイドスクリーン	24.5 インチ (62.2 cm)
種類	TN FHD
表示可能画像サイズ	62.2 cm / 24.5 インチ (対角方向)
傾斜角度	-5 ~ 23°
質量	
スタンドを除く	3.6 kg
スタンドを含む	4.6 kg
寸法 (スタンドを含む)	
高さ	40.8 cm
奥行き	22.8 cm
幅	56.9 cm
最大グラフィックス解像度	1920×1080
最適グラフィックス解像度	1920×1080
ピクセル ピッチ	0.3 mm×0.3 mm
ピクセル密度 (Pixels Per Inch)	89.9 PPI
水平周波数	30 ~ 144 kHz
垂直周波数	42 ~ 144 Hz
応答時間	モニターの応答時間は 7 ミリ秒に初期設定されています。ディスプレイメニューで応答時間を 1 ミリ秒まで短く設定できます。すべての動作仕様は、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります
環境条件	
動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
相対湿度	20% ~ 70%

仕様	測定値
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
保管時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	40 W
通常設定	30 W
スリープ時	0.5 W 未満
電源切断時	0.3 W 未満
入力端子	HDMI 入力端子×2、DisplayPort×1

プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.47	60
2	720×400	31.47	70
3	800×600	37.88	60
4	1024×768	48.36	60
5	1280×720	45	60
6	1280×800	49.70	60
7	1280×1024	63.98	60
	1366×768	48	60
8	1440×900	55.94	60
9	1600×900	60	60
10	1680×1050	65.29	60
11	1920×1080	67.50	60
13	1920×1080	325.10	144

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	720×480	31.469	60
2	576p	720×576	31.25	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p60	1920×1080	67.5	60
6	1080p50	1920×1080	56.25	50

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10 以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。


電源アダプター

製造元	モデル番号	電源電圧
Delta	TPC-DA58	19.5 V DC (3.33 A、65 W の場合)

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

エネルギーセーブモードの設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください (省電力機能は、省電力機能、パワー管理機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります)。

 **注記:** モニターの省電力機能は、エネルギーセーブモードを備えたコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。


モニターの [Sleep Timer] (スリープタイマー) ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの [Sleep Timer] ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。